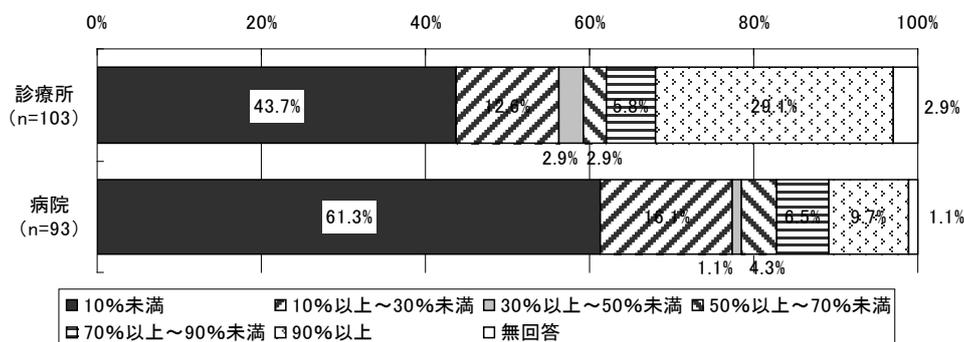
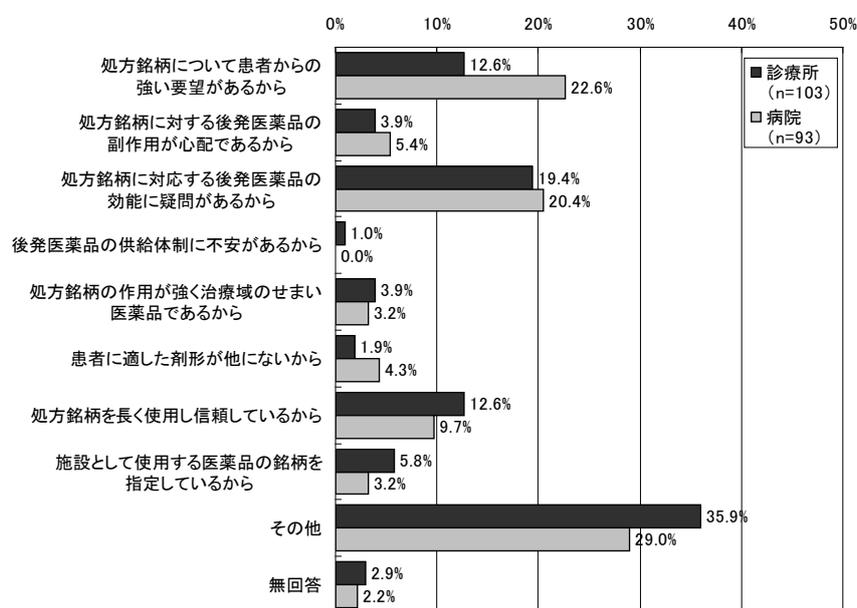


図表 109 院外処方せん枚数全体に占める、一部の医薬品について「変更不可」と記載した処方せん枚数の割合（医師ベース）



図表 110 一部の医薬品について「変更不可」とする最も多い理由（医師ベース、単数回答）

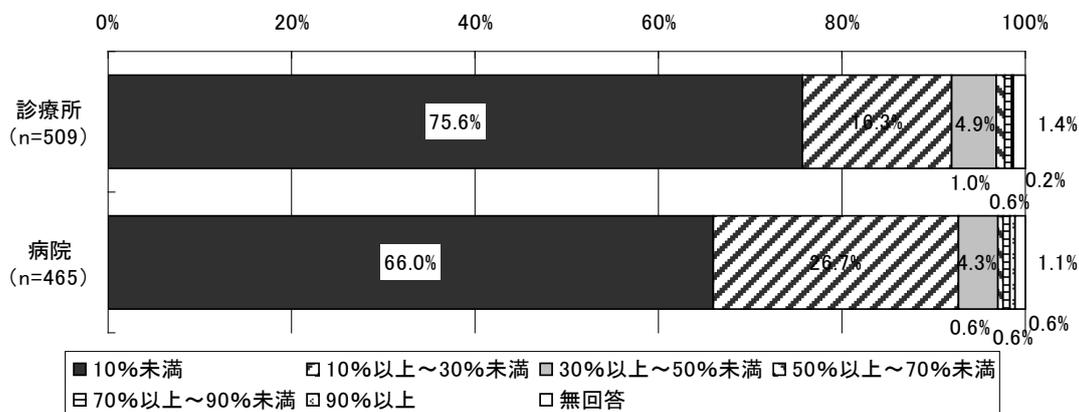


※「その他」には、複数の選択肢に○がついている回答が含まれる。その他の内容は以下のとおりである。

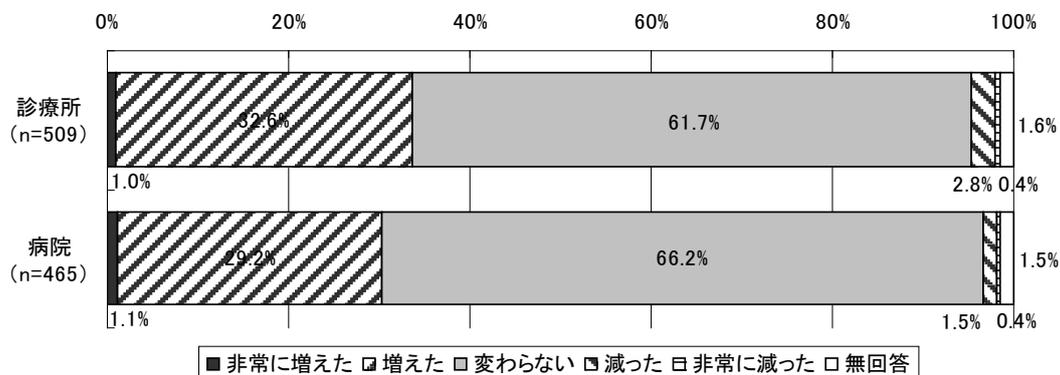
	診療所	病院
「その他」を選択した回答数	37	27
患者からの強い要望があるから	8	3
副作用が心配であるから	14	1
効能に疑問があるから	19	4
供給体制に不安があるから	5	2
作用が強く治療域のせまい医薬品	2	1
患者に適した剤形が他にないから	6	0
長く使用し信頼しているから	11	3
銘柄を指定している	8	0
先発医薬品と後発医薬品の値段に違いがないから	-	1
薬局で実際に調剤された後発医薬品を診療録に記載するのが面倒だから	-	1
効果が安定している前処方をそのままにしたいため	-	1
後発医薬品に適応がなかったから。	4	3
院外処方をしていない	-	3
その他	4	2
未記入	4	10

10) 後発医薬品について関心がある患者の割合（平成 21 年 4 月以降）

図表 111 外来患者のうち、後発医薬品について関心がある（医師に質問する、使用を希望する）患者の割合（医師ベース）

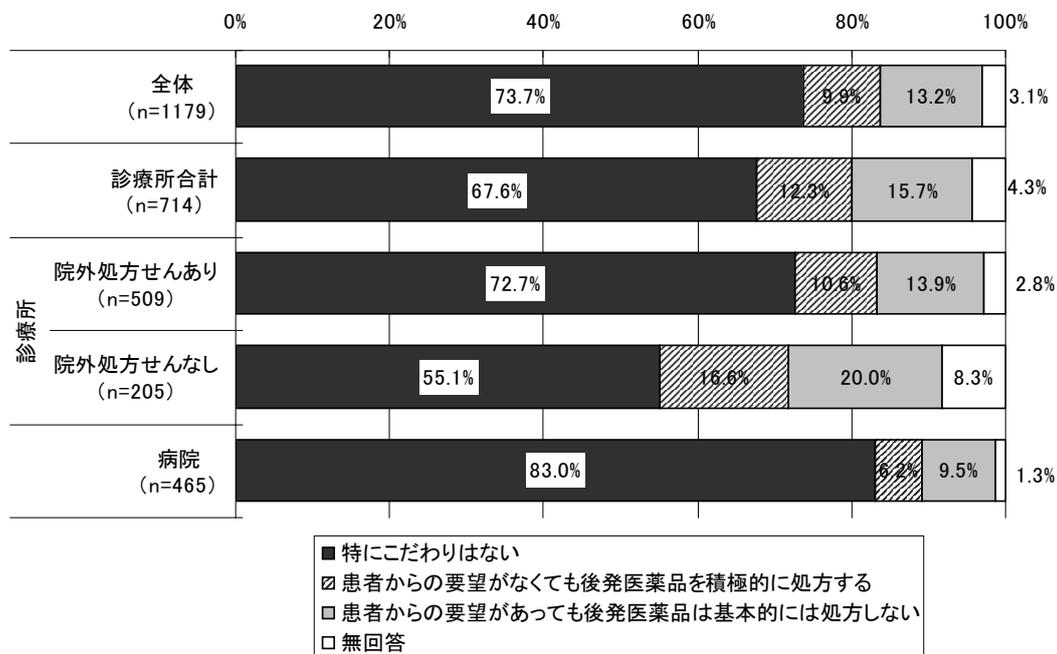


図表 112 後発医薬品について関心がある（医師に質問する、使用を希望する）患者数の変化（1 年前と比較して、医師ベース）

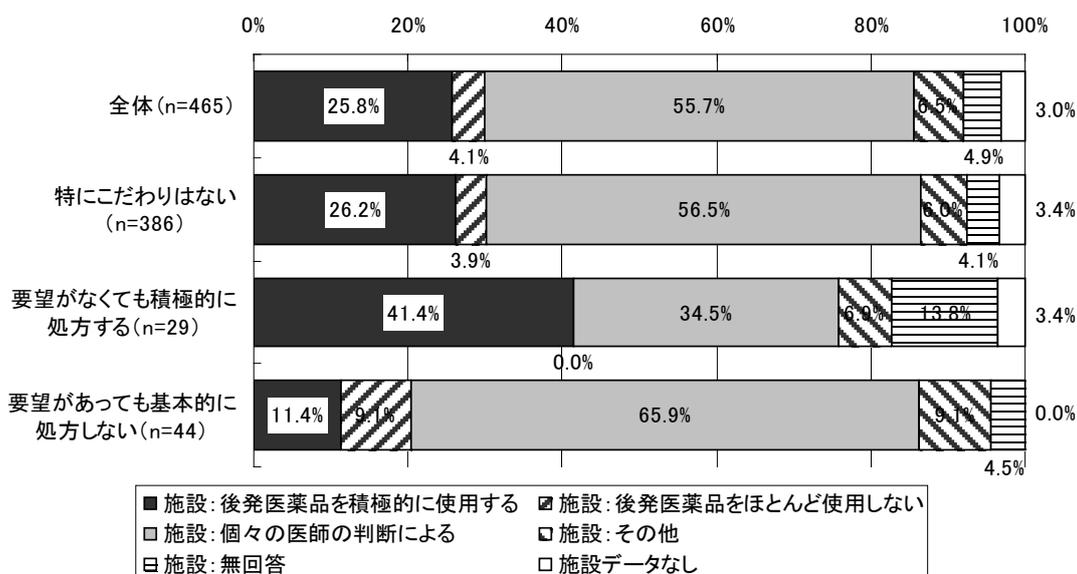


11) 医師における、外来診療時の後発医薬品の処方に関する考え

図表 113 外来診療における後発医薬品の処方に関する考え方（医師ベース）

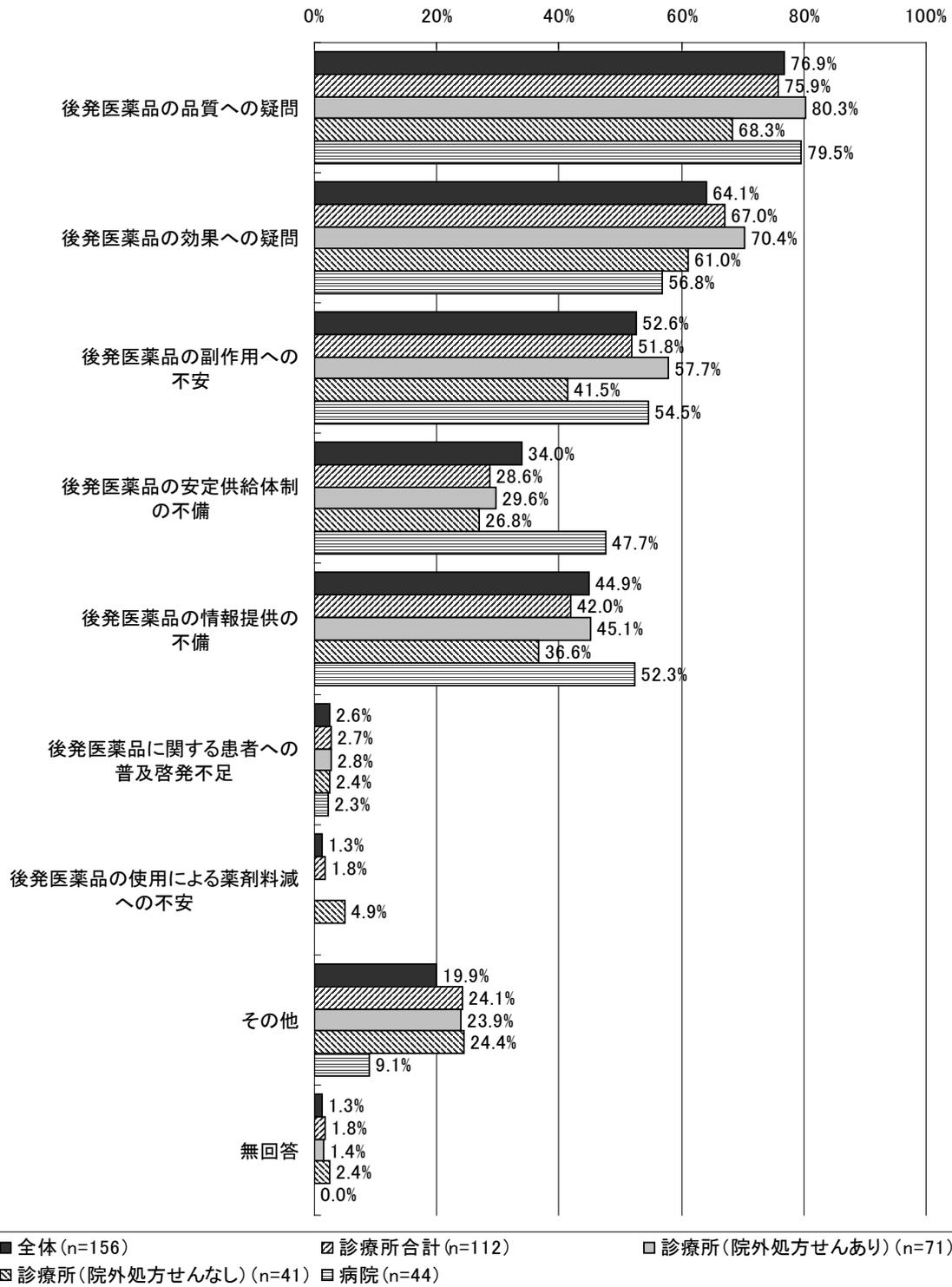


図表 114 医師の外来診療における後発医薬品の処方に関する考え方  
(外来患者に後発医薬品を院外処方する場合の施設としての対応別、病院ベース)



※全体には「外来診療における医師の後発医薬品処方に関する考え方」が無回答だった6名が含まれる。

図表 115 外来診療において患者からの要望があっても後発医薬品を基本的には処方しない理由（医師ベース、複数回答）

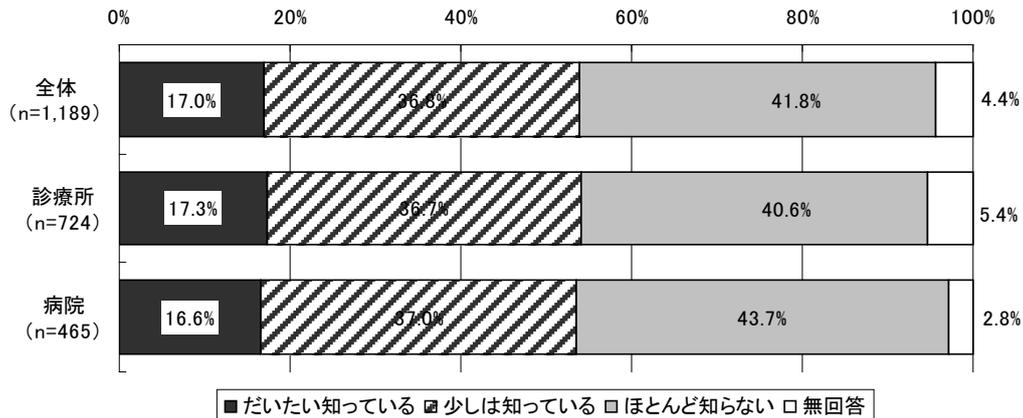


※「後発医薬品の使用による薬剤料減への不安」については、「診療所（院外処方せんなし）」のみの選択肢となっている。

⑨医師における後発医薬品使用に関する意識等

1) 医師における、薬事法に基づく厚生労働大臣の承認を得るために必要なデータの内容に関する認知状況（医師ベース）

図表 116 薬事法に基づく厚生労働大臣の承認を得るために必要なデータの内容に関する認知状況（医師ベース）



2) 後発医薬品の処方を進めるための環境

図表 117 どのような対応がなされれば、医師の立場として後発医薬品の処方を進めても良いか（複数回答）

